

2012年12月19日

株式会社 リクルートホールディングス

## ワークス採用見通し調査 (新卒：2014年卒 中途：2013年度)

株式会社リクルートホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：峰岸真澄）の人と組織に関する研究機関・リクルートワークス研究所では、民間企業における2013年度の採用の見通しに関する調査を行い、5,063社（回収率69.0%）より回答が得られましたので、ご報告いたします。

※本データは、民間企業における、2014年卒の新卒採用および2013年度の中途採用（正規社員に限定）を対象としております。

### 2014年卒の新卒採用は、10.3%が「増える」見通し — 飲食サービス業や小売業では「増える」が「減る」を大きく上回る —

#### 【2014年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）】

- ・ 2014年卒対象の大学生・大学院生の新卒採用見通しは、「増える」が10.3%、「減る」が6.9%と、「増える」が「減る」をわずかに上回り（+3.4%ポイント）、2013年卒に引き続き、大学生・大学院生の新卒採用は多少回復する見通しである。（詳細は3ページ）
- ・ 鉄鋼・非鉄金属・金属や自動車・鉄道など一部製造業では、「減る」の方が「増える」を上回っているものの、飲食サービス業や小売業を中心として「増える」が「減る」を大きく上回っている。（詳細は5ページ）

#### 【2013年度 of 正規社員の中途採用見通し】

- ・ 2013年度の中途採用見通しは、「増える」が7.5%、「減る」が5.3%と、「増える」が「減る」をわずかに上回り（+2.2%ポイント）、2012年度に続いて堅調に推移する見込みである。（詳細は6ページ）

#### 【業種別 新卒採用見通しと中途採用見通しの比較】

- ・ 業種（詳細分類）ごとに新卒採用（大学生・大学院生）見通しと中途採用見通しを比較すると、飲食サービス業、スーパー・DIY・生活協同組合などの一部小売業では、新卒採用と中途採用ともに「増える」が「減る」を大きく上回っている。（詳細は9ページ）

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit.jp/support/form/>

## 【目次】

調査概要	2
2014年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）	3～5
従業員規模別	4
業種別	5
2013年度の中途採用見通し（正規社員）	6～8
従業員規模別	7
業種別	8
業種別 新卒採用見通しと中途採用見通しの関係	9
参考 2014年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）地域別	10
参考 2013年度の中途採用見通し（正規社員）地域別	11
参考 2014年卒者の新卒採用見通し（高校生）	12～15
従業員規模別	13
業種別	14
地域別	15

## 【調査概要】

調査目的：全国の民間企業を対象に、新卒・中途採用における求人動向を明らかにすること。

### 【2012年調査】

調査対象：従業員規模5人以上の全国の民間企業  
7,333社

調査項目：2012年度の新卒・中途採用状況  
2013年度の新卒・中途採用見通し

調査期間：2012年10月10日～11月9日

回収社数：5,063社（回収率69.0%）

回収方法：電話・FAXにて回収

### （参考）

### 【2011年調査】

調査対象：従業員規模5人以上の全国の民間企業  
6,829社

調査項目：2011年度の新卒・中途採用状況  
2012年度の新卒・中途採用見通し

調査期間：2011年10月17日～11月18日

回収社数：4,673社（回収率68.4%）

回収方法：電話・FAXにて回収

### 《調査結果を見る際の注意点》

※本調査における「製造業」は、「ワークス大卒求人倍率調査」や前年までの「ワークス見通し調査」と異なり、農林水産業と建設業を除いた数字です

※%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合があります

※業種別の表において、業種にその他の区分があるため、大分類の合計社数が回答社数と一致しません

### ーリクルートワークス研究所についてー

リクルートワークス研究所は、1999年1月に設立された、株式会社リクルートホールディングスの中にある「人」と「組織」に関する研究部門

<設立目的>

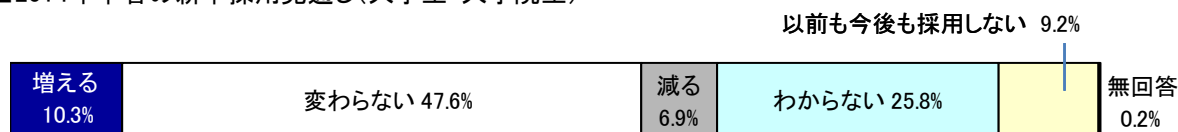
中・長期人材ビジネスの基礎研究。「人材マネジメント」や「労働市場」における情報発信・提言活動の推進

# 【2014年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）】

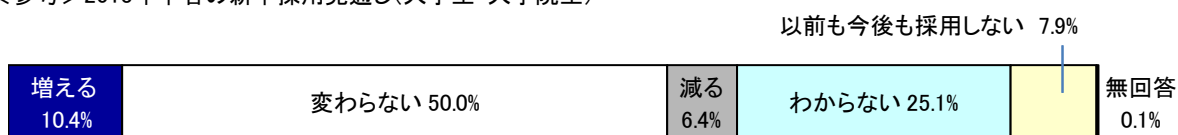
2014年卒対象の大学生・大学院生の新卒採用見通しは、「増える」（10.3%）が「減る」（6.9%）をわずかに上回っており（+3.4%ポイント）、2013年卒に引き続き、大学生・大学院生の新卒採用は多少回復する見込みである。

また、「わからない」が2013年卒の25.1%より微増の25.8%となっており、新卒採用市場は今後の景気動向に左右される可能性がある。

## ■2014年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）

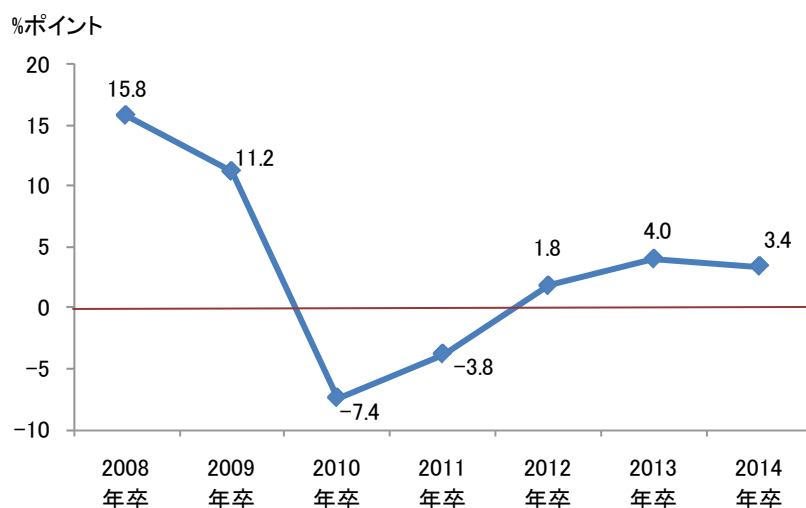


## <参考>2013年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）



## ■新卒採用見通し（大学生・大学院生）の経年比較

### □「増える－減る」のポイントの経年比較



### □見通しの経年比較

	(%ポイント)						増える － 減る
	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	
2014年卒	10.3%	47.6%	6.9%	25.8%	9.2%	0.2%	+3.4
2013年卒	10.4%	50.0%	6.4%	25.1%	7.9%	0.1%	+4.0
2012年卒	9.3%	47.1%	7.5%	28.6%	7.5%	0.1%	+1.8
2011年卒	5.5%	40.1%	9.3%	36.6%	8.3%	0.1%	-3.8
2010年卒	8.3%	50.6%	15.7%	25.1%	-	0.3%	-7.4
2009年卒	18.0%	54.9%	6.8%	19.9%	-	0.4%	+11.2
2008年卒	22.7%	46.4%	6.9%	21.4%	-	2.7%	+15.8

注) 2010年卒以前は、採用の見通しを質問する際に、「以前も今後も採用しない」を選択肢に入れていないため、2011年卒以降と2010年卒以前は単純に比較できないが参考として記載

# 【従業員規模別 2014年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）】

従業員規模別に見ると、従業員1000人未満企業、従業員1000人以上企業ともに、「増える」が「減る」を上回っている。従業員1000人未満企業、従業員1000人以上企業ともに、2013年卒者の採用と「変わらない」が半数近くとなっており、「わからない」が3割弱となっている。

従業員規模別を細かく見てみると、どの従業員規模でも「増える」が「減る」を上回っている。「増えるー減る」のポイントが比較的に大きい従業員規模は、従業員2000～4999人企業（+8.2%ポイント）や、従業員5000人以上企業（+7.9%ポイント）などの大企業である。従業員規模が大きくなるにつれ、「増えるー減る」のポイントが大きくなっている。

## ■従業員規模別 2014年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増えるー減る
<b>全 体</b>	<b>5063</b>	<b>10.3%</b>	<b>47.6%</b>	<b>6.9%</b>	<b>25.8%</b>	<b>9.2%</b>	<b>0.2%</b>	<b>+3.4</b>
<b>1000人未満</b>	<b>3644</b>	<b>8.8%</b>	<b>45.6%</b>	<b>6.8%</b>	<b>26.2%</b>	<b>12.4%</b>	<b>0.2%</b>	<b>+2.0</b>
5～99人	1029	4.3%	30.5%	3.0%	32.7%	29.3%	0.2%	+1.3
100～299人	1112	7.8%	45.6%	7.5%	27.9%	11.1%	0.2%	+0.3
300～999人	1503	12.5%	56.0%	8.9%	20.6%	1.9%	0.1%	+3.6
<b>1000人以上</b>	<b>1419</b>	<b>14.4%</b>	<b>52.6%</b>	<b>7.2%</b>	<b>24.7%</b>	<b>0.8%</b>	<b>0.2%</b>	<b>+7.2</b>
1000～1999人	656	14.0%	56.1%	7.8%	21.2%	0.9%	-	+6.2
2000～4999人	486	14.8%	50.6%	6.6%	26.5%	1.2%	0.2%	+8.2
5000人以上	277	14.8%	47.7%	6.9%	30.0%	-	0.7%	+7.9

## <参考> 従業員規模別 2013年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増えるー減る
1000人未満	3147	9.1%	47.7%	6.8%	25.2%	11.1%	0.1%	+2.3
1000人以上	1526	13.3%	54.7%	5.6%	25.0%	1.2%	0.2%	+7.7

# 【業種別 2014年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）】

業種別を大分類で見ると、製造業で「減る」が「増える」を上回っているが、その他の業種では「増える」の方が「減る」を上回っている。

業種別を細かく見ると、飲食サービス業（29.4%）では3割近い企業が「増える」と回答している。また、「増える」が「減る」を上回っているのは、飲食サービス業（+27.9%ポイント）や情報通信業（+10.0%ポイント）など一部のサービス・情報業や小売業（+10.7%ポイント）、精密機械器具（+9.1%ポイント）などの一部の製造業である。一方、「減る」の方が「増える」を上回っている業種は、鉄鋼・非鉄金属・金属（-8.4%ポイント）、自動車・鉄道（-5.8%ポイント）、機械・プラント・エンジニアリング（-4.9%ポイント）など一部の製造業である。

■業種別 2014年卒者の新卒採用見通し(大学生・大学院生)

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える -減る
<b>建設業</b>	<b>353</b>	<b>13.0%</b>	<b>45.9%</b>	<b>6.5%</b>	<b>21.8%</b>	<b>12.5%</b>	<b>0.3%</b>	<b>+6.5</b>
<b>製造業</b>	<b>1819</b>	<b>7.6%</b>	<b>47.4%</b>	<b>9.3%</b>	<b>28.2%</b>	<b>7.2%</b>	<b>0.2%</b>	<b>-1.7</b>
食品	237	8.9%	45.6%	8.0%	29.1%	8.4%	-	+0.9
化学・紙・石油	197	8.6%	55.8%	9.6%	21.8%	4.1%	-	-1.0
鉄鋼・非鉄金属・金属	167	6.0%	42.5%	14.4%	28.1%	9.0%	-	-8.4
機械・プラント・エンジニアリング	207	7.7%	54.6%	12.6%	21.3%	3.9%	-	-4.9
コンピュータ・通信機器・OA機器関連	50	6.0%	52.0%	2.0%	34.0%	6.0%	-	+4.0
半導体・電子・電気部品	99	8.1%	44.4%	4.0%	34.3%	8.1%	1.0%	+4.1
自動車・鉄道	156	6.4%	51.9%	12.2%	25.6%	3.2%	0.6%	-5.8
精密機械器具	88	11.4%	55.7%	2.3%	26.1%	4.5%	-	+9.1
<b>流通業</b>	<b>929</b>	<b>12.6%</b>	<b>50.6%</b>	<b>6.2%</b>	<b>23.7%</b>	<b>6.9%</b>	<b>-</b>	<b>+6.4</b>
卸売業	499	9.0%	51.7%	6.4%	25.5%	7.4%	-	+2.6
小売業	430	16.7%	49.3%	6.0%	21.6%	6.3%	-	+10.7
<b>金融業</b>	<b>398</b>	<b>11.3%</b>	<b>47.0%</b>	<b>5.8%</b>	<b>29.6%</b>	<b>6.0%</b>	<b>0.3%</b>	<b>+5.5</b>
銀行	71	5.6%	39.4%	1.4%	53.5%	-	-	+4.2
※証券	47	10.6%	42.6%	2.1%	34.0%	10.6%	-	+8.5
労働金庫・信用金庫・信用組合	183	13.7%	57.4%	10.4%	18.6%	-	-	+3.3
<b>サービス・情報業</b>	<b>1512</b>	<b>11.4%</b>	<b>46.6%</b>	<b>4.9%</b>	<b>24.3%</b>	<b>12.6%</b>	<b>0.2%</b>	<b>+6.5</b>
情報通信業	378	14.8%	51.9%	4.8%	20.9%	7.4%	0.3%	+10.0
運輸業	267	6.7%	46.8%	5.2%	24.3%	16.9%	-	+1.5
不動産業	90	11.1%	52.2%	3.3%	22.2%	11.1%	-	+7.8
飲食サービス業	68	29.4%	44.1%	1.5%	16.2%	7.4%	1.5%	+27.9
教育・学習支援	79	11.4%	34.2%	7.6%	38.0%	7.6%	1.3%	+3.8
医療・福祉	131	11.5%	38.9%	4.6%	28.2%	16.8%	-	+6.9
※電気・ガス・熱供給・水道業	42	9.5%	54.8%	4.8%	26.2%	4.8%	-	+4.7

注) 製造業は、農林水産業・建設業を除いた数字

注) 業種内訳は、特徴的な業種の一部を抜粋

注) ※が付いているものは、回答社数が少ないため、参考データとして参照

<参考>業種別 2013年卒者の新卒採用見通し(大学生・大学院生)

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える -減る
建設業	295	10.8%	43.4%	7.8%	27.5%	10.5%	-	+3.0
製造業	1854	8.4%	49.4%	7.4%	28.4%	6.2%	0.2%	+1.0
流通業	989	14.4%	52.9%	5.1%	19.6%	7.9%	0.2%	+9.3
金融業	288	8.3%	50.3%	7.3%	29.5%	4.5%	-	+1.0
サービス・情報業	1206	10.6%	50.7%	5.5%	22.9%	10.3%	0.1%	+5.1

# 【2013年度の中途採用見通し（正規社員）】

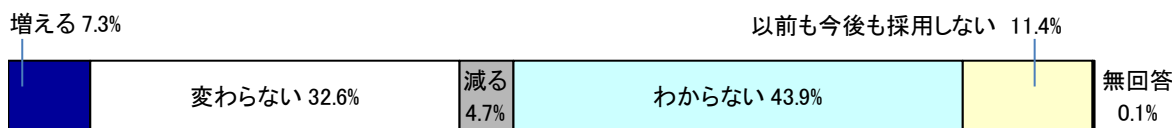
2013年度の中途採用の見通しについては、「増える」（7.5%）が「減る」（5.3%）を上回っている（+2.2%ポイント）。「増える」が「減る」を上回るのは、2012年度の見通しに続いて2年連続である。正規社員の中途採用は、2012年度に続いて堅調に推移する見込みである。

また、「わからない」と回答した企業が47.2%と、2012年度（43.9%）よりわずかに上昇しており、今後の採用見通しの不透明感が多少うかがえる。

## ■2013年度の中途採用見通し

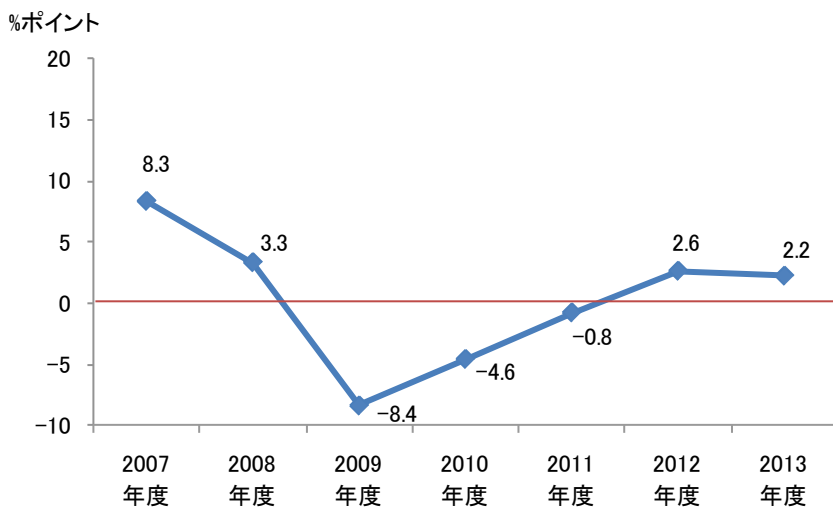


## <参考> 2012年度の中途採用見通し



## ■正規社員の中途採用見通しの経年比較

### □「増えるー減る」のポイントの経年比較



### □見通しの経年比較

(%ポイント)

	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増えるー減る
2013年度	7.5%	30.5%	5.3%	47.2%	9.3%	0.2%	+2.2
2012年度	7.3%	32.6%	4.7%	43.9%	11.4%	0.1%	+2.6
2011年度	4.1%	27.3%	4.9%	50.5%	13.0%	0.3%	-0.8
2010年度	1.7%	22.2%	6.3%	54.9%	14.6%	0.3%	-4.6
2009年度	4.0%	32.5%	12.4%	50.8%	-	0.3%	-8.4
2008年度	11.3%	40.7%	8.0%	39.0%	-	0.9%	+3.3
2007年度	15.8%	29.8%	7.5%	43.7%	-	3.2%	+8.3

注)2009年度以前は、採用の見通しを質問する際に、「以前も今後も採用しない」を選択肢に入れていないため、2010年度以降と2009年度以前は単純に比較できないが参考として記載

# 【従業員規模別 2013年度の中途採用見通し（正規社員）】

従業員規模別に見ると、従業員1000人未満企業、従業員1000人以上企業で「増える」が「減る」を上回っている。

従業員規模を細かく見てみると、どの従業員規模においても「増える」が「減る」を上回っている。特に、従業員1000～1999人企業（+4.5%ポイント）や従業員2000～4999人企業（+3.5%ポイント）といった大企業では、他の従業員規模と比べて、「増える」が「減る」を大きく上回っている。

一方、見通しが「わからない」企業は、従業員規模が大きくなるにつれ、その回答割合は高くなっている。

## ■従業員規模別 2013年度の中途採用見通し

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える - 減る
<b>全 体</b>	<b>5063</b>	<b>7.5%</b>	<b>30.5%</b>	<b>5.3%</b>	<b>47.2%</b>	<b>9.3%</b>	<b>0.2%</b>	<b>+2.2</b>
<b>1000人未満</b>	<b>3644</b>	<b>6.9%</b>	<b>30.8%</b>	<b>5.2%</b>	<b>46.8%</b>	<b>10.1%</b>	<b>0.1%</b>	<b>+1.7</b>
5～99人	1029	6.4%	31.8%	4.9%	45.8%	11.0%	0.2%	+1.5
100～299人	1112	7.0%	30.1%	5.1%	47.2%	10.4%	0.1%	+1.9
300～999人	1503	7.2%	30.7%	5.5%	47.1%	9.3%	0.1%	+1.7
<b>1000人以上</b>	<b>1419</b>	<b>8.9%</b>	<b>29.7%</b>	<b>5.4%</b>	<b>48.3%</b>	<b>7.3%</b>	<b>0.4%</b>	<b>+3.5</b>
1000～1999人	656	10.1%	32.2%	5.6%	45.7%	6.3%	0.2%	+4.5
2000～4999人	486	8.6%	26.5%	5.1%	50.6%	8.8%	0.2%	+3.5
5000人以上	277	6.5%	29.2%	5.1%	50.5%	7.2%	1.4%	+1.4

## <参考>従業員規模別 2012年度の中途採用見通し

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える - 減る
1000人未満	3147	6.1%	33.0%	4.9%	43.3%	12.7%	0.0%	+1.2
1000人以上	1526	9.8%	31.8%	4.3%	45.3%	8.7%	0.1%	+5.5

# 【業種別 2013年度の中途採用見通し（正規社員）】

業種別を大分類で見ると、製造業以外の業種で「増える」が「減る」を上回っている。また、どの業種でも半数程度の企業が「わからない」と回答している。

小分類別に見てみると、「増える」が「減る」を上回っているのは、飲食サービス業（+20.6%ポイント）、医療・福祉（+9.2%ポイント）、運輸業（+7.5%ポイント）など一部のサービス・情報業と、コンピュータ・通信機器・OA通信機器（+10.0%ポイント）などである。一方、「減る」の方が「増える」を上回っているのは、機械・プラント・エンジニアリング（-7.7%ポイント）などである。

## ■業種別 2013年度の中途採用見通し

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える -減る
<b>建設業</b>	<b>353</b>	<b>8.5%</b>	<b>32.9%</b>	<b>4.0%</b>	<b>47.9%</b>	<b>6.8%</b>	-	<b>+4.5</b>
<b>製造業</b>	<b>1819</b>	<b>5.7%</b>	<b>29.1%</b>	<b>7.7%</b>	<b>50.4%</b>	<b>6.8%</b>	<b>0.3%</b>	<b>-2.0</b>
食品	237	6.8%	25.3%	7.6%	49.4%	11.0%	-	-0.8
化学・紙・石油	197	5.1%	31.5%	5.1%	53.8%	4.6%	-	0.0
鉄鋼・非鉄金属・金属	167	6.0%	25.1%	7.8%	54.5%	6.0%	0.6%	-1.8
機械・プラント・エンジニアリング	207	3.9%	32.4%	11.6%	48.3%	3.9%	-	-7.7
コンピュータ・通信機器・OA機器関連	50	10.0%	24.0%	-	56.0%	10.0%	-	+10.0
半導体・電子・電気部品	99	4.0%	32.3%	6.1%	47.5%	9.1%	1.0%	-2.1
自動車・鉄道	156	4.5%	31.4%	10.9%	46.2%	6.4%	0.6%	-6.4
精密機械器具	88	6.8%	30.7%	9.1%	45.5%	8.0%	-	-2.3
<b>流通業</b>	<b>929</b>	<b>6.0%</b>	<b>32.4%</b>	<b>3.4%</b>	<b>47.3%</b>	<b>10.9%</b>	-	<b>+2.6</b>
卸売業	499	5.6%	30.5%	4.4%	50.3%	9.2%	-	+1.2
小売業	430	6.5%	34.7%	2.3%	43.7%	12.8%	-	+4.2
<b>金融業</b>	<b>398</b>	<b>2.8%</b>	<b>24.9%</b>	<b>1.0%</b>	<b>52.0%</b>	<b>19.1%</b>	<b>0.3%</b>	<b>+1.8</b>
銀行	71	-	25.4%	-	70.4%	4.2%	-	0.0
※証券	47	8.5%	36.2%	-	46.8%	8.5%	-	+8.5
労働金庫・信用金庫・信用組合	183	2.2%	19.7%	1.6%	45.9%	30.6%	-	+0.6
<b>サービス・情報業</b>	<b>1512</b>	<b>11.2%</b>	<b>32.1%</b>	<b>5.0%</b>	<b>42.0%</b>	<b>9.5%</b>	<b>0.3%</b>	<b>+6.2</b>
情報通信業	378	12.4%	30.7%	6.1%	41.3%	9.3%	0.3%	+6.3
運輸業	267	10.1%	33.0%	2.6%	46.1%	8.2%	-	+7.5
不動産業	90	10.0%	31.1%	4.4%	45.6%	8.9%	-	+5.6
飲食サービス業	68	26.5%	35.3%	5.9%	27.9%	1.5%	2.9%	+20.6
教育・学習支援	79	2.5%	27.8%	8.9%	46.8%	12.7%	1.3%	-6.4
医療・福祉	131	16.8%	36.6%	7.6%	33.6%	5.3%	-	+9.2
※電気・ガス・熱供給・水道業	42	4.8%	40.5%	-	40.5%	14.3%	-	+4.8

注) 製造業は、農林水産業・建設業を除いた数字

注) 業種内訳は、特徴的な業種の一部を抜粋

注) ※が付いているものは、回答社数が少ないため、参考データとして参照

## <参考>業種別 2012年度の中途採用見通し

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える -減る
建設業	295	8.1%	28.1%	4.4%	48.1%	11.2%	-	+3.7
製造業	1854	6.1%	32.5%	6.6%	45.5%	9.3%	0.1%	-0.5
流通業	989	7.9%	32.3%	3.8%	42.7%	13.1%	0.2%	+4.1
金融業	288	3.1%	28.1%	2.4%	49.3%	17.0%	-	+0.7
サービス・情報業	1206	9.4%	35.2%	3.0%	40.8%	11.7%	-	+6.4



# 【業種別 新卒採用見通しと中途採用見通しの関係】

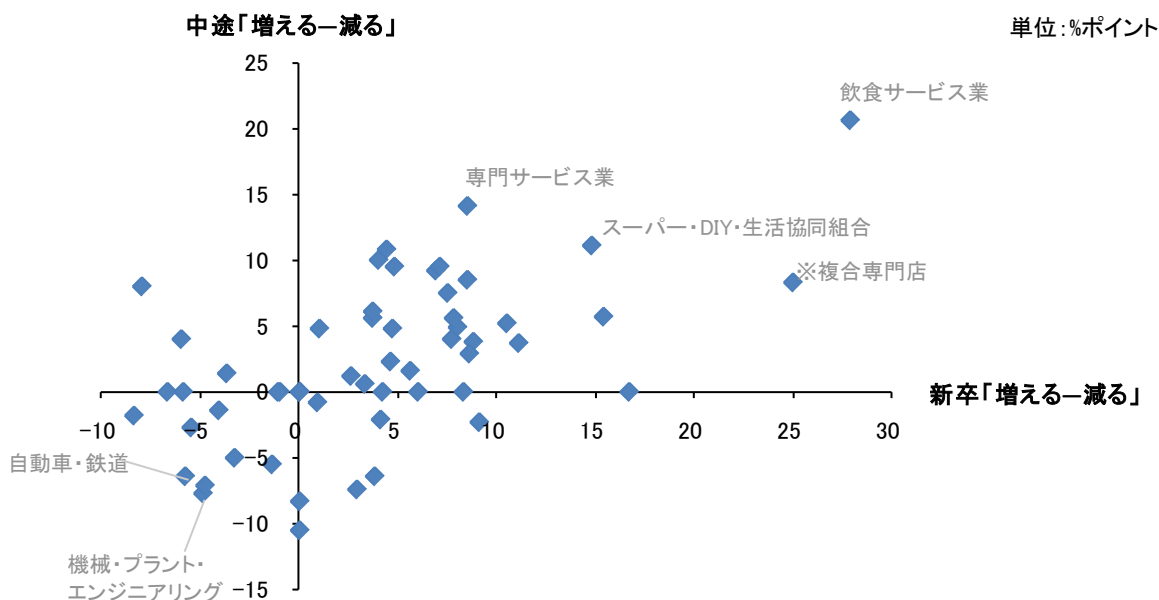
業種（詳細分類）ごとに、大学生・大学院生の新卒採用見通しと、正規社員の中途採用見通しの関係を見ると、2012年度に比べ、2013年度は全体的に、新卒・中途採用の両方を「減らす」と回答した業種が多くなっている。

その中で、飲食サービス業やスーパー・DIY・生活協同組合などの一部小売業といった業種では、新卒・中途採用ともに「増える」が「減る」を大きく上回っている。これらの業種は2012年度の見通しにおいても、「増える」が「減る」を大きく上回っている。

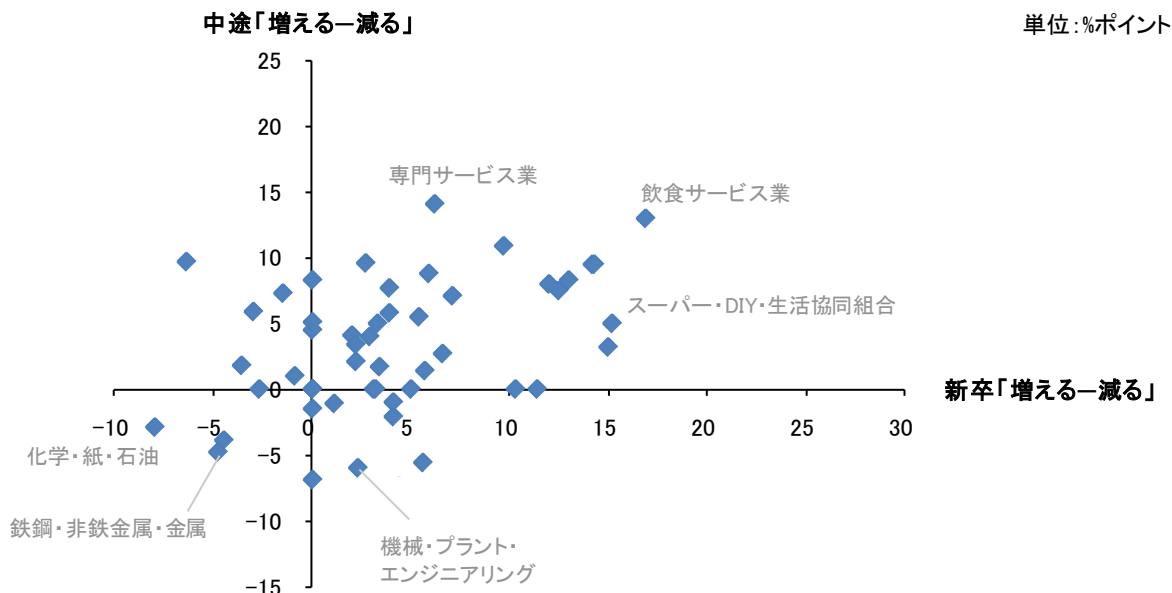
一方、自動車・鉄道や機械・プラント・エンジニアリングといった一部の製造業では、新卒・中途採用ともに「減る」の方が「増える」を上回っている。

## ■業種（詳細分類）別 新卒採用(大学生・大学院生)見通しと中途採用見通しの関係

□2013年度(新卒:2014年卒者)



□2012年度(新卒:2013年卒者)



注)※が付いているものは、回答企業数が少ないため、参考データとして参照

# 参考【地域別 2014年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）】

地域別で見ると、すべての地域において、「増える」が「減る」を上回っている。

「増える」が「減る」を比較的大きく上回っているのは、関東（+4.9%ポイント）であり、続いて北海道（+4.2%ポイント）、九州（+3.7%ポイント）と続く。一方、近畿（+1.3%ポイント）や東北（+1.7%ポイント）は、他の地域と比べて「増える」が「減る」をわずかに上回っている。

## ■地域別 2014年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）

（%ポイント）

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後とも採用しない	無回答	増える - 減る
<b>全体</b>	<b>5063</b>	<b>10.3%</b>	<b>47.6%</b>	<b>6.9%</b>	<b>25.8%</b>	<b>9.2%</b>	<b>0.2%</b>	<b>+3.4</b>
北海道	190	6.8%	44.2%	2.6%	27.4%	18.9%	-	+4.2
東北	227	7.0%	45.8%	5.3%	27.8%	13.7%	0.4%	+1.7
関東	2306	11.3%	49.6%	6.4%	24.5%	7.9%	0.3%	+4.9
中部	826	10.4%	50.4%	8.5%	23.2%	7.4%	0.1%	+1.9
近畿	779	9.6%	47.4%	8.3%	27.6%	7.1%	-	+1.3
中国・四国	436	11.0%	40.6%	8.3%	28.0%	12.2%	-	+2.7
九州	299	8.7%	38.1%	5.0%	32.8%	15.4%	-	+3.7

## <参考> 地域別 2013年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）

（%ポイント）

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後とも採用しない	無回答	増える - 減る
<b>全体</b>	<b>4673</b>	<b>10.4%</b>	<b>50.0%</b>	<b>6.4%</b>	<b>25.1%</b>	<b>7.9%</b>	<b>0.1%</b>	<b>+4.0</b>
北海道	132	9.1%	40.9%	9.1%	25.0%	15.9%	-	0.0
東北	177	10.7%	35.6%	7.9%	33.3%	12.4%	-	+2.8
関東	2249	11.0%	52.6%	5.5%	24.5%	6.4%	0.0%	+5.5
中部	772	11.5%	48.2%	8.4%	24.6%	7.0%	0.3%	+3.1
近畿	753	9.6%	52.2%	6.2%	25.2%	6.5%	0.3%	+3.4
中国・四国	347	8.6%	44.7%	5.8%	28.0%	12.7%	0.3%	+2.8
九州	243	7.8%	47.3%	7.8%	23.0%	14.0%	-	0.0

注) 地域は本社所在地の都道府県を示しており、地域区分は下記の通り

北海道: 北海道

東北: 青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県

関東: 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部: 山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、静岡県、愛知県、岐阜県

近畿: 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国・四国: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

## 参考【地域別 2013年度の中途採用見通し（正規社員）】

地域別で見ると、中国・四国以外の地域において、「増える」が「減る」を上回っている。3割の企業が「変わらない」、4～5割の企業が「わからない」と回答している。

また、「増える－減る」のポイントを見ると、どの地域でも微増、微減である。関東（+3.3%ポイント）、東北（+3.1%ポイント）は、「増える」が「減る」を比較的大きく上回っている。

### ■地域別 2013年度の中途採用見通し

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える －減る
<b>全体</b>	<b>5063</b>	<b>7.5%</b>	<b>30.5%</b>	<b>5.3%</b>	<b>47.2%</b>	<b>9.3%</b>	<b>0.2%</b>	<b>+2.2</b>
北海道	190	4.2%	28.9%	4.2%	48.9%	13.7%	－	0.0
東北	227	7.9%	34.4%	4.8%	43.2%	9.7%	－	+3.1
関東	2306	8.4%	30.7%	5.1%	46.8%	8.5%	0.4%	+3.3
中部	826	7.5%	29.1%	6.1%	46.4%	10.9%	0.1%	+1.4
近畿	779	7.3%	32.0%	4.9%	48.0%	7.8%	－	+2.4
中国・四国	436	4.6%	28.7%	5.7%	51.4%	9.6%	－	-1.1
九州	299	6.7%	29.8%	5.4%	46.2%	12.0%	－	+1.3

### <参考>地域別 2012年度の中途採用見通し

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える －減る
<b>全体</b>	<b>4673</b>	<b>7.3%</b>	<b>32.6%</b>	<b>4.7%</b>	<b>43.9%</b>	<b>11.4%</b>	<b>0.1%</b>	<b>+2.6</b>
北海道	132	4.5%	27.3%	4.5%	48.5%	14.4%	0.8%	0.0
東北	177	6.2%	28.2%	5.6%	46.3%	13.6%	－	+0.6
関東	2249	7.9%	33.8%	4.4%	43.0%	10.9%	0.0%	+3.5
中部	772	7.1%	30.7%	4.1%	45.3%	12.6%	0.1%	+3.0
近畿	753	7.3%	31.2%	5.4%	45.7%	10.4%	－	+1.9
中国・四国	347	6.6%	36.6%	4.0%	43.2%	9.5%	－	+2.6
九州	243	6.2%	32.5%	7.0%	39.9%	14.4%	－	-0.8

注)地域は本社所在地の都道府県を示しており、地域区分は下記の通り

北海道:北海道

東北:青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県

関東:茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部:山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、静岡県、愛知県、岐阜県

近畿:三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国・四国:鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

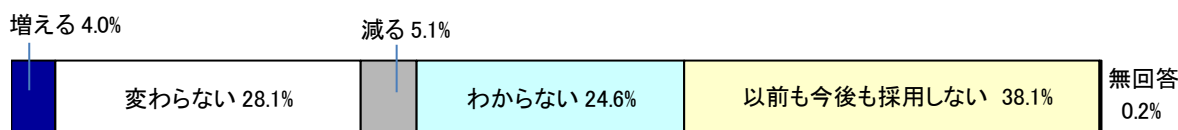
九州:福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

## 参考【2014年卒者の新卒採用見通し（高校生）】

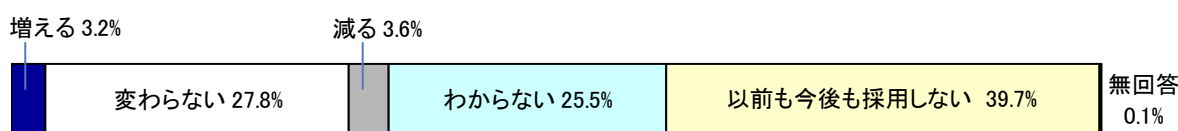
2014年卒対象の高校生の新卒採用見通しは、「減る」（5.1%）が「増える」（4.0%）を上回っており（-1.1%ポイント）、調査を開始した2010年卒以来、「増えるー減る」のポイントは5年連続マイナスとなっている。

また、「以前も今後も採用しない」は2013年卒（39.7%）とほぼ同じ水準である38.1%であり、約4割の企業は高校生の新卒採用を実施していない。

### ■2014年卒者の新卒採用見通し（高校生）

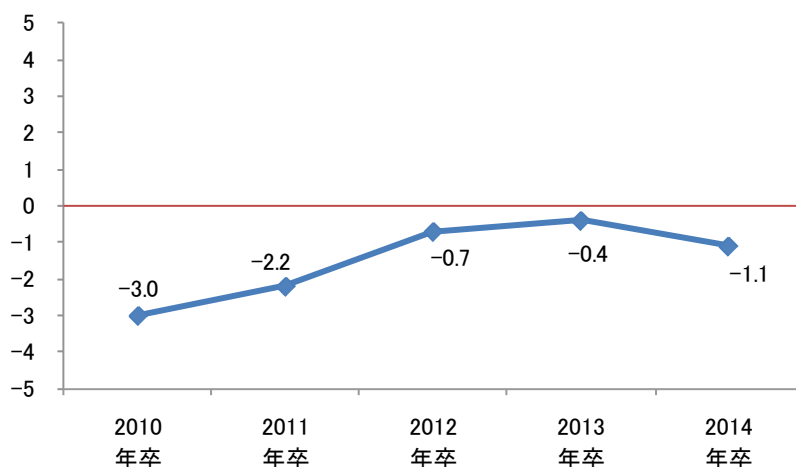


### <参考>2013年卒者の新卒採用見通し（高校生）



### ■新卒採用見通し（高校生）の経年比較

#### □「増えるー減る」のポイントの経年比較 %ポイント



#### □見通しの経年比較

(%ポイント)

	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増えるー減る
2014年卒	4.0%	28.1%	5.1%	24.6%	38.1%	0.2%	-1.1
2013年卒	3.2%	27.8%	3.6%	25.5%	39.7%	0.1%	-0.4
2012年卒	3.4%	26.7%	4.1%	28.2%	37.4%	0.2%	-0.7
2011年卒	3.1%	29.8%	5.3%	38.3%	23.3%	0.0%	-2.2
2010年卒	4.9%	62.0%	7.9%	24.6%	-	0.5%	-3.0

注) 高卒の採用見通しは2010年卒より調査している

2010年卒は、採用の見通しを質問する際に、「以前も今後も採用しない」を選択肢に入れていないため、2011年卒以降と2010年卒は単純に比較できないが参考として記載

## 参考【従業員規模別 2014年卒者の新卒採用見通し（高校生）】

従業員規模別に見ると、従業員1000人未満企業、従業員1000人以上企業ともに、「減る」が「増える」を上回っている。見通しが「わからない」企業は1000人未満企業において24.1%、1000人以上企業において25.7%となっており、高校生の新卒採用見通しも今後の景気動向に左右される可能性がある。

従業員規模別を細かく見てみると、多くの従業員規模で「減る」が「増える」を上回っている。ただし、従業員5～99人企業（+1.4%ポイント）と従業員5000人以上企業（+0.8%ポイント）において、「増える」が「減る」を上回っている。

### ■従業員規模別 2014年卒者の新卒採用見通し(高校生)

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える -減る
<b>全 体</b>	<b>5063</b>	<b>4.0%</b>	<b>28.1%</b>	<b>5.1%</b>	<b>24.6%</b>	<b>38.1%</b>	<b>0.2%</b>	<b>-1.1</b>
<b>1000人未満</b>	<b>3644</b>	<b>4.0%</b>	<b>26.9%</b>	<b>4.7%</b>	<b>24.1%</b>	<b>40.1%</b>	<b>0.1%</b>	<b>-0.7</b>
5～99人	1029	3.5%	21.8%	2.1%	27.7%	44.7%	0.2%	+1.4
100～299人	1112	4.0%	25.5%	5.3%	22.1%	42.9%	0.1%	-1.3
300～999人	1503	4.2%	31.5%	6.1%	23.2%	34.9%	0.1%	-1.9
<b>1000人以上</b>	<b>1419</b>	<b>4.0%</b>	<b>31.1%</b>	<b>5.8%</b>	<b>25.7%</b>	<b>32.9%</b>	<b>0.4%</b>	<b>-1.8</b>
1000～1999人	656	3.0%	32.0%	6.7%	23.2%	34.8%	0.3%	-3.7
2000～4999人	486	4.7%	32.5%	5.6%	28.2%	28.8%	0.2%	-0.9
5000人以上	277	5.1%	26.7%	4.3%	27.1%	35.7%	1.1%	+0.8

### <参考> 従業員規模別 2013年卒者の新卒採用見通し(高校生)

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える -減る
1000人未満	3147	3.2%	26.0%	3.6%	25.1%	42.0%	0.1%	-0.4
1000人以上	1526	3.2%	31.7%	3.7%	26.3%	35.0%	0.2%	-0.5

# 参考【業種別 2014年卒者の新卒採用見通し（高校生）】

業種別を大分類で見ると、製造業で「減る」が「増える」を上回っているが、その他の業種では「増える」が「減る」を上回っている。

業種別を細かく見ると、「増える」が「減る」を上回っているのは、医療・福祉（+6.1%ポイント）や飲食サービス業（+5.9%ポイント）など一部のサービス・情報業や、小売業（+2.5%ポイント）などである。一方、「減る」が「増える」を上回っている業種は、自動車・鉄道（-12.9%ポイント）、鉄鋼・非鉄金属・金属（-9.0%ポイント）、半導体・電子・電機部品（-8.1%ポイント）など一部の製造業である。

## ■業種別 2014年卒者の新卒採用見通し（高校生）

（%ポイント）

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える - 減る
<b>建設業</b>	<b>353</b>	<b>5.1%</b>	<b>30.6%</b>	<b>4.0%</b>	<b>25.2%</b>	<b>35.1%</b>	-	<b>+1.1</b>
<b>製造業</b>	<b>1819</b>	<b>4.0%</b>	<b>35.8%</b>	<b>9.1%</b>	<b>30.1%</b>	<b>20.8%</b>	<b>0.3%</b>	<b>-5.1</b>
食品	237	5.1%	33.8%	7.6%	32.1%	21.5%	-	-2.5
化学・紙・石油	197	5.1%	40.6%	10.2%	28.9%	15.2%	-	-5.1
鉄鋼・非鉄金属・金属	167	6.6%	35.3%	15.6%	29.9%	12.6%	-	-9.0
機械・プラント・エンジニアリング	207	3.9%	44.9%	8.7%	24.2%	18.4%	-	-4.8
コンピュータ・通信機器・OA機器関連	50	2.0%	24.0%	2.0%	34.0%	38.0%	-	0.0
半導体・電子・電機部品	99	-	26.3%	8.1%	32.3%	32.3%	1.0%	-8.1
自動車・鉄道	156	3.8%	42.9%	16.7%	28.2%	7.7%	0.6%	-12.9
精密機械器具	88	2.3%	36.4%	8.0%	28.4%	25.0%	-	-5.7
<b>流通業</b>	<b>929</b>	<b>4.5%</b>	<b>21.4%</b>	<b>3.7%</b>	<b>21.5%</b>	<b>48.8%</b>	<b>0.1%</b>	<b>+0.8</b>
卸売業	499	2.8%	21.0%	3.4%	19.8%	52.9%	-	-0.6
小売業	430	6.5%	21.9%	4.0%	23.5%	44.0%	0.2%	+2.5
<b>金融業</b>	<b>398</b>	<b>2.5%</b>	<b>25.1%</b>	<b>2.0%</b>	<b>27.6%</b>	<b>42.5%</b>	<b>0.3%</b>	<b>+0.5</b>
銀行	71	1.4%	22.5%	2.8%	53.5%	19.7%	-	-1.4
※証券	47	4.3%	19.1%	-	25.5%	51.1%	-	+4.3
労働金庫・信用金庫・信用組合	183	3.3%	36.6%	3.3%	25.1%	31.7%	-	0.0
<b>サービス・情報業</b>	<b>1512</b>	<b>3.8%</b>	<b>23.5%</b>	<b>2.2%</b>	<b>19.0%</b>	<b>51.2%</b>	<b>0.3%</b>	<b>+1.6</b>
情報通信業	378	1.3%	14.8%	1.1%	13.8%	68.8%	0.3%	+0.2
運輸業	267	4.9%	26.6%	3.7%	22.1%	42.7%	-	+1.2
不動産業	90	2.2%	16.7%	-	11.1%	70.0%	-	+2.2
飲食サービス業	68	5.9%	38.2%	-	19.1%	35.3%	1.5%	+5.9
教育・学習支援	79	-	5.1%	1.3%	13.9%	78.5%	1.3%	-1.3
医療・福祉	131	8.4%	30.5%	2.3%	23.7%	35.1%	-	+6.1
※電気・ガス・熱供給・水道業	42	7.1%	35.7%	2.4%	33.3%	21.4%	-	+4.7

注) 製造業は、農林水産業・建設業を除いた数字

注) 業種内訳は、特徴的な業種の一部を抜粋

注) ※が付いているものは、回答社数が少ないため、参考データとして参照

## <参考>業種別 2013年卒者の新卒採用見通し（高校生）

（%ポイント）

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える - 減る
建設業	295	5.8%	23.7%	3.7%	33.2%	33.6%	-	+2.1
製造業	2165	4.2%	37.1%	5.4%	31.0%	22.2%	0.1%	-1.2
流通業	989	2.3%	21.1%	2.2%	21.3%	52.7%	0.3%	+0.1
金融業	288	1.0%	23.3%	2.8%	25.3%	47.6%	-	-1.8
サービス・情報業	1206	2.4%	21.3%	2.4%	18.6%	55.3%	-	0.0

## 参考【地域別 2014年卒者の新卒採用見通し（高校生）】

地域別で見ると、北海道（+2.1%ポイント）と東北（+3.1%ポイント）において、「増える」が「減る」を上回っている。また、北海道と東北において、前年と「増えるー減る」のポイントがマイナスからプラスへと逆転している。

一方、北海道と東北以外の地域において、「減る」が「増える」を上回っている。「減る」が「増える」を比較的に大きく上回っているのは、中部（-2.9%ポイント）である。

### ■地域別 2014年卒者の新卒採用見通し（高校生）

（%ポイント）

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える ー減る
<b>全体</b>	<b>5063</b>	<b>4.0%</b>	<b>28.1%</b>	<b>5.1%</b>	<b>24.6%</b>	<b>38.1%</b>	<b>0.2%</b>	<b>-1.1</b>
北海道	190	4.7%	31.1%	2.6%	28.4%	33.2%	-	+2.1
東北	227	7.5%	32.6%	4.4%	30.4%	25.1%	-	+3.1
関東	2306	2.8%	25.2%	4.0%	21.6%	46.1%	0.4%	-1.2
中部	826	5.0%	34.1%	7.9%	24.3%	28.5%	0.2%	-2.9
近畿	779	3.3%	28.0%	4.9%	26.1%	37.7%	-	-1.6
中国・四国	436	6.7%	31.2%	6.9%	28.9%	26.4%	-	-0.2
九州	299	4.7%	24.7%	5.4%	31.1%	34.1%	-	-0.7

### <参考>地域別 2013年卒者の新卒採用見通し（高校生）

（%ポイント）

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える ー減る
<b>全体</b>	<b>4673</b>	<b>3.2%</b>	<b>27.8%</b>	<b>3.6%</b>	<b>25.5%</b>	<b>39.7%</b>	<b>0.1%</b>	<b>-0.4</b>
北海道	132	2.3%	21.2%	7.6%	31.8%	37.1%	-	-5.3
東北	177	4.0%	28.2%	5.1%	35.0%	27.7%	-	-1.1
関東	2249	2.3%	24.4%	2.8%	22.2%	48.1%	0.1%	-0.5
中部	772	4.8%	34.1%	6.0%	29.4%	25.6%	0.1%	-1.2
近畿	753	3.1%	30.8%	2.4%	25.4%	38.2%	0.1%	+0.7
中国・四国	347	5.2%	30.8%	2.9%	27.4%	33.4%	0.3%	+2.3
九州	243	4.5%	29.6%	5.3%	30.0%	30.5%	-	-0.8

注)地域は本社所在地の都道府県を示しており、地域区分は下記の通り

北海道:北海道

東北:青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県

関東:茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部:山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、静岡県、愛知県、岐阜県

近畿:三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国・四国:鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州:福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県